

令和7年度 四万十町立大正中学校 教育方針

(1) 学校教育目標

どんなに社会が変わろうとも「自分に、家族に、故郷に誇りが持てる生徒」の育成

(2) めざす学校像

生徒が来てよかった、保護者が行かせてよかった、地域の人に関わってよかったと思える学校

(3) めざす生徒像

○自分に、家族に、故郷に誇りが持てる生徒

○将来の自分（遠い目標）のイメージが描け、それを実現するために今何をしなければならないのか（近い目標）考えれる生徒

(4) めざす教師像

○明るくて優しく、常に生徒を、同僚を思いやれる教師

(5) 学校経営方針

○「目指す学校像」の実現のために地域との関わりを意図的に作る

○「目指す生徒像」の実現のために粘り強く、組織的に取り組む

○「目指す教師像」の実現のために教職員一人ひとりが常に自分自身を振り返る

(6) 行動指針（学校経営計画）

【知】

研究主題に基づいた授業改善を組織的・計画的に実践する

【徳】

「全ての生徒が安心できる」「生徒の自主性を育てる」という視点で取組の見直し・工夫・充実を図る

【体】

適切なメディアの使用を中心に生徒が基本的な生活習慣の大切さに気付く取組を実施する

【横断】

・学校における働き方改革

管理職は各職員が行っている業務内容について常に把握する

・不祥事防止

不祥事防止の取組について全職員で考える場を適宜設定する